

龍田 康 登

龍田康登氏は、1972年に東洋工業(株)(現マツダ(株))に入社以来、一貫して生産技術分野を歩み、自動車製造における生産と商品開発の両軸の自動化、高度化に多大な貢献を果たした。1985年にエンジンやトランスミッションを含む全ての自動車部品を対象として、多車種をランダムな順序で混流生産できる機械加工ライン HV-FMS (High Volume-Flexible Manufacturing System) を着想し、2004年にラインを実現した。本技術では、5%の追加投資で新機種の立上げが可能であること、ダウンタイムがほとんどないこと、新機種立上げのリードタイムが約1カ月と非常に短いことなど、多くの優れた性能を有しており、スカイアクティブと総称されるマツダ(株)の次世代技術の生みの親として高く評価されている。また、CAD上の三次元データを基本とし、これを開発から生産現場まで一元的に使用する「一気通貫」のモノづくりも徹底して押し進め、設計や解析、加工、組立てのみならず、工程設計も三次元データに基づくデジタル化を実現した。

トヨタエイトック(株)では、大径SiCインゴットを高速・高品質に切断できるワイヤーソーの開発にも取り組み、2009年には独自のワイヤー揺動法を利用した新製品の市場投入を実現した。

学会活動では、精密工学会員としても幅広く貢献し、1999年から中国四国支部幹事、2004年に同支部の副支部長、2005年に同支部長、2002年～2011年には本学会の代議員を務め、2008年に精密工学会フェローとなっている。また2010年に本学会の「賛助会員の会」の初代会長に就任した。

以上のように、龍田康登氏が自動車の生産技術分野に関する産業界、学協会の発展に果たした貢献は極めて大である。

略 歴



- 1972年 大阪大学大学院工学部精密工学科修士課程修了
- 1972年 東洋工業株式会社(現マツダ株式会社)入社
- 1993年 同社技術本部FA技術部長
- 1994年 同社技術本部生産企画部長
- 1995年 同社技術本部商品生技部長
- 2003年 同社執行役員技術本部長
- 2007年 同社常務執行役員技術本部長兼トヨタエイトック株式会社代表取締役社長
- 2008年 同社常務執行役員品質担当、開発担当補佐(もの造り革新担当)
兼トヨタエイトック株式会社代表取締役社長
- 2011年 トヨタエイトック株式会社代表取締役社長
- 2013年 トヨタエイトック株式会社を退任
精密工学会フェロー(2008年)